

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 平成30年度 鹿児島港巡視船基地係留設備等設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名	No. 1	調査位置	鹿児島県鹿児島市七ツ島2丁目1-11	北 緯	31° 28' 14.0"
発注機関	海上保安庁第十管区海上保安本部総務部	調査期間	2018年 8月 2日 ~ 2018年 8月 6日	東 経	130° 31' 58.8"
孔口標高	DL+ 4.74m	角 度		試験機	東邦地下工機製 DD型
総削孔長	20.15m	方 位		エンジン	ヤンマー製 NFD8型
				ポンプ	東邦地下工機製 BG3C型

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室 原 位 内 置 試 験	削 孔 月 日						
												深 度 - N 値 図		N 値	深 度 (m)	100mm ごと の 打撃 回数				打撃 ごと の 貫入 量	50 回 の 貫入 量	自 沈 時 の 貫入 量	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法
	4.49	0.25		原裝工(コンクリート)		灰				補装															
	4.19	0.55		原裝工(砕石)		灰				砕石															
	4.02	0.68		原裝工(砕石)		灰				砕石															
1				埋土(シルラス)		灰																			
2				埋土(シルラス)		灰				細砂主体、φ2mmの礫や軽石を混入する。															
3				埋土(シルラス)		灰																			
4	1.29	3.45		埋土(砂)		灰				砂は細~中砂主体、全体に火山灰質砂を含む。全体にφ2~10mmの貝殻片を混入する。下部ほど混入量が少なくなる。深度4.00m、6.00mの貫入試料にφ30mmの軽石を含む。深度7.00mの貫入試料は火山灰質砂主体で、含水量が多く脆弱である。	8/3 2.90														
5				埋土(砂)		灰																			
6				埋土(砂)		灰																			
7				埋土(砂)		灰																			
8	-3.26	8.00		砂		灰																			
9				砂		灰																			
10				砂		灰																			
11				砂		灰																			
12				砂		灰																			
13				砂		灰																			
14				砂		灰																			
15				砂		灰																			
16				砂		灰																			
17				砂		灰																			
18				砂		灰																			
19				砂		灰																			
20	-15.26	20.00		砂		灰																			

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 平成30年度 鹿児島港巡視船基地係留設備等設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名	Nb.2	調査位置	鹿児島県鹿児島市七ツ島2丁目1-11	北緯	31° 28' 18.0"
発注機関	海上保安庁第十管区海上保安本部総務部	調査期間	2018年 7月 30日 ~ 2018年 8月 1日	東経	130° 31' 59.4"
孔口標高	DL+ 4.67m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 180° 東
総削孔長	20.15m	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	東邦地下工機製 D0-D型
				エンジン	ヤンマー製 NFD8型
				ポンプ	東邦地下工機製 BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室 原 位 置 試 験	削 孔 月 日											
												深 度 - N 値 図		N 値	深 度 (m)	100mm ごと の 打撃 回数				打撃 回数 の 貫入 量	50 回 の 貫入 量	自 沈 時 の 貫入 量	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法					
	4.37	0.30		原盤工(コンクリート)		灰				雑草																				
	3.87	0.70		原盤工(砂石)		灰				砂石																				
	3.87	0.80		原盤工(シラス)		灰																								
1				埋土(シラス)		灰褐色 / 灰褐色		rdl		細砂主体、含水量多い、火山灰質粘性土を少量含む。φ2~5mmの軽石を混入する。			12	1.45	3	4	5	12												
2													4	2.15	1	1	2	4												
3													4	2.45																
4	1.07	3.60											1	3.45	1			1		3.15	2-1	⊖	物理							
5				埋土(シルト泥じり砂)									8	4.35	3	3	2	8												
6													7	4.45																
7										砂は中~粗砂主体、上部にφ2~5mmの貝殻片を混入する。全体にφ5~10mmの軽石を含む。深度7.00~10.00m間、細砂主体の火山灰質砂を多く含む。深度8.00、9.00mの貫入試料は含水量非常に多く脆弱である。		6	6.15	2	2	2	6													
8													3	7.15	1	1	1	3		7.15	2-2	⊖	物理							
9													1	8.45	1			1												
10	-5.48	10.15											2	9.35	1	1	2	2												
11													4	10.15	1	1	2	4												
12													4	11.15	1	1	2	4												
13													5	12.15	1	2	2	5												
14										砂は細~中砂主体、全体にφ2~10mmの貝殻片を混入する。上部にφ5~10mm、最大φ50mmの軽石を含む。深度12.45~13.45m間、中砂主体となる。深度15.00m付近、火山灰質粘性土をブロック状に挟む。含水量非常に多く、軟質である。深度18.00m以降、火山灰質砂を多く含む。細砂主体となる。φ2mmの礫、細粒分を少量混入する。		6	13.45	2	2	2	6													
15													5	14.15	1	2	2	5		14.15	2-3	⊖	物理							
16													7	15.15	2	3	2	7												
17													11	16.15	3	3	5	11												
18													9	17.15	2	3	4	9												
19													8	18.15	3	2	3	8												
20	-15.33	20.00											6	19.15	2	2	2	6												
													8	20.15	3	3	2	8												

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 平成30年度 鹿児島港巡視船基地係留設備等設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名	No. 3	調査位置	鹿児島県鹿児島市七ツ島2丁目1-11	北緯	31° 28' 21.3"
発注機関	海上保安庁第十管区海上保安本部総務部	調査期間	2018年 8月 2日 ~ 2018年 8月 6日	東経	130° 31' 59.8"
孔口標高	DL+ 4.67m	角		方位	
総削孔長	20.15m	地盤勾配		使用機種	ワイビーエム製 YEM05型
		エンジン	ヤンマー製 NFD10型	ポンプ	ワイビーエム製 GP5型

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室 原 内 置 試 験	削 孔 月 日							
												深 度 - N 値 図		N 値	深 度 (m)	100mm ごと の 打 撃 回 数				打 撃 回 数 の 貫 入 量	50 回 の 貫 入 量	自 沈 時 の 貫 入 量	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法	
	4.37	0.30		原裝工(コンクリート)		灰				補強																
	4.07	0.60		原裝工(砂石)		灰				砂石																
	3.97	0.70		原裝工(シラシ)		灰																				
1				埋土(シラシ)		灰		非常に緩い		細砂主体。φ10mmの礫石を混入する。部分的に細粒分を多く含む。	8/2 2.40		14	1.15	4	5	5	14								
2				埋土(砂)		灰		非常に緩い		砂は細~中砂主体。上部にφ2~5mmの貝殻を混入する。深度5.00m~8.00m間、火山灰質砂を混入する。φ20mmの礫石を含む。深度7.00、8.00mの貫入試料は細砂主体で含水量非常に多く脆弱である。	8/2 2.40		4	2.45	1	1	2	4	300	2.15	3-1	物理				
3	1.52	3.15				灰		非常に緩い					11	3.45	3	4	4	11								
4						灰		非常に緩い					6	4.45	2	2	2	6								
5						灰		非常に緩い					7	5.45	2	2	3	7								
6						灰		非常に緩い					6	6.45	2	2	2	6	6.15	3-2	物理					
7						灰		非常に緩い					0	7.45	0	0	0	650	6.45							
8						灰		非常に緩い					0	7.65	0	0	0	550								
9	-1.23	8.90				灰		非常に緩い					6	8.90	1	2	3	6								
10						灰		非常に緩い					7	9.45	2	2	3	7								
11						灰		非常に緩い					2	10.45	1	1	2	2								
12						灰		非常に緩い					7	11.45	3	2	2	7								
13						灰		非常に緩い					6	12.45	2	2	2	6								
14						灰		非常に緩い					6	13.45	2	2	2	6	14.15	3-3	物理					
15						灰		非常に緩い					0	14.45	0	0	0		14.45							
16						灰		非常に緩い					1	15.45	1	1	1	650								
17						灰		非常に緩い					11	16.45	3	4	4	11								
18						灰		非常に緩い					11	17.45	4	4	3	11								
19						灰		非常に緩い					12	18.45	3	4	5	12								
20	-15.33	20.00				灰		非常に緩い					10	19.45	3	3	4	10								
						灰		非常に緩い					11	20.45	3	4	4	11								

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 平成30年度 鹿児島港巡視船基地係留設備等設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名	N6.4	調査位置	鹿児島県鹿児島市七ツ島2丁目1-11	北緯	31° 28' 25.3"
発注機関	海上保安庁第十管区海上保安本部総務部	調査期間	2018年 7月 30日 ~ 2018年 8月 1日	東経	130° 32' 0.4"
孔口標高	DL+ 4.68m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	20.15m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	ワイビーエム製 YEM05型
				エンジン	ヤンマー製 NFD10型
				ポンプ	ワイビーエム製 GP5型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	標準貫入試験						試料採取	室原位置試験	削孔月日	
											深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量
1	4.38 4.02 3.93	0.30 0.65 0.75	原状工(コンクリート) 原状工(砂石) 原状工(シラズ)	埋土(シラズ)	灰	淡褐色	rdl		雑草 砕石		13	1.45 2.15 2.49	5 1 1	5 170 170	3 2 3	13 340 340	3.16	4-1	物理	7/30
2	1.03 3.65	3.65	埋土(シルト混じり砂)		褐灰/灰褐色	非常に緩い~緩い			砂は細~中砂主体。上部にφ2~5mmの貝殻片を混入する。深度5.00~8.00m間、火山灰質砂を多く含む。砂石を混入する。深度8.00mの貫入試験は含水量非常に多く、脆弱である。部分的に数cmの砂質シルトを挟む。		4	3.45 3.65 4.35 4.41	1 1 2 2	1 2 2 5	1 500 300	3.65	4-1	物理		
3											4	4.41 5.15 5.45	1 1 1	2 2 4	4 300 300	6.15	4-2	物理		
4											4	6.45 7.15 7.45	1 1 2	1 2 1	4 300 300	6.45	4-2	物理		
5											4	7.15 8.15	1 1	2 1	4 300					
6											1	8.15 8.65	1 2	1 2	1 500					
7											7	9.15 9.35	2 2	2 3	7 300					
8											7	9.45 10.15	1 1	2 4	7 300					
9											7	10.15 11.15	1 2	1 2	4 300					
10											5	11.15 12.15	2 1	2 5	5 300					
11											5	12.15 13.15	1 2	2 2	5 300					
12											5	13.15 14.15	2 1	2 1	5 300					
13											5	14.15 15.15	2 1	1 4	4 300	14.15	4-3	物理		
14											4	15.15 16.15	5 5	5 5	15 300	14.45				
15											15	16.15 16.45	3 4	4 4	11 300					
16											11	17.15 17.45	3 4	4 4	11 300					
17											11	18.15 18.45	4 3	3 4	11 300					
18											11	19.15 19.45	3 3	3 4	10 300					
19											10	20.15	3	3	4 10 300					
20											10									